

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	上富子育 第 1866 号
		決裁期日	令和 8 年 2 月 27 日
名 称	令和 7 年度 第 2 回子ども・子育て会議		
日 時	令和 8 年 2 月 26 日（木） 13：30～14：15		
場 所	保健福祉総合センターかみん 1 階 多目的ホール		
出 席 者	子ども・子育て会議委員 12 名（別紙名簿参照） 役場 保健福祉課 三好課長、菊池主幹、飯村主幹、末永主幹、白井主査、坂本主査 木澤主事		
内 容	・ 開会（進行：三好課長） 1 委員長挨拶 ・ 松原委員長（北海道科学大学保健医療学部看護学科教授）より挨拶。 2 議題 (1) 特定教育・保育施設の利用定員について（事務局説明） 事務局：認定こども園上富良野高田幼稚園より令和 8 年度 4 月から利用定員変更の申し出があり、1 号児を 20 人減・2 号児を 20 人増やすものとする。 変更前：1 号児・35 人、2 号児・25 人、3 号児・35 人 変更後：<u>1 号児・15 人 (-20 人)</u>、<u>2 号児・25 人 (+20 人)</u>、3 号児・35 人 （詳細については、資料 1 参照。） 【意見なし】 (2) こども誰でも通園制度について（事務局説明） 事務局：令和 8 年 4 月より全ての市町村において、こども誰でも通園制度が本格実施となる。制度内容としては、0 歳 6 か月から満 3 歳未満の認定こども園に通っていないこどもが、保護者の就労有無に関わらず、月 10 時間までの利用可能枠の範囲内で認定こども園等へ通園することができるもの。 実施施設としては、認定こども園上富良野高田幼稚園（一般型在園児合同実施・定員 10 名）上富良野西こども園（余裕活用型）の 2 園で開始予定。 （詳細については、資料 2 参照。） 【意見なし】 (次ページへ続く)		

内 容

(3) その他

①次回会議の開催について

- ・今年度での委員任期満了に伴い、次年度の委員について推薦書の提出をお願いする。次回開催予定は令和8年5月を予定。

②その他

- ・松原委員長：今回の会議をもって、令和7年度上富良野町子ども・子育て会議を終了させていただくことから、委員の皆様から一言ずつお言葉をいただきたい。
- ・桑原副委員長：4月から校長に就任し、今年度初めて子ども子育て会議の出席となったが、転校等の都合による上富良野町以外からの転入者については、相談できる相手が見つからず、ひとりで子育てに悩む保護者がいると思うので、困っている時に手を差し伸べられるような保護者が安心できる環境をこれからも会議等通じて築いていきたいと思う。
- ・瀬下委員：保護者の立場として参加させていただいたが、この場に来ないと知らないような支援や事業の仕組み等を学ばせてもらった。会議内で協議される議題について、他の保護者が学べる機会があまりないと思うので、来期の委員募集等について防災無線等でも周知が行われているとのことだったので、一步踏み出せないでいる保護者は参加してもらえればと思う。
- ・加藤委員：養育里親として現在、1歳2か月のお子さんをお預かりしているが、自分の子育てをしていた時代と変化していることが多々あり、保護者の就労継続に伴い乳児期からこども園へ就園させる親子が増えており、ドライな関係性が増えていると感じている。4月から開始するこども誰でも通園制度では就労要件を問わないとのことなので、現役の保護者にはとても有意義な制度になると感じている。
- ・谷委員：2年間委員として会議に出席してもらい、最近では未就学児童の話題にふれる機会がなかったことから、自分の子育て期との制度差に驚くことも多々あったが、やはりいつの時代も女性が子どもを育てる機会が多いと感じる部分は変わらない。男性も子育てに巻き込みながら子との関わりが増えればいいと感じる。
- ・増田(光)委員：議題中で事務局から説明がありましたが、利用定員変更の承認をいただきありがとうございました。高田幼稚園も認定こども園としての設立開始から来年で10年となり、この間で全園児数の減少、特に1号児減少が顕著となっている。時代の変化に合わせて保護者のニーズも変化していることから、来年度から始まるこども誰でも通園制度もご意見等賜りながら事業実施を進めていきたい。
- ・増田(幸)委員：施設の代表として会議に出席することで様々な制度等を学んでゆき、保護者が園を利用する際に生かしていくことが、こども園施設長としての使命と感じているため、今後も園の運営に尽力していきたいと思う。

(次ページへ続く)

内 容

- ・高松委員：2年間の委員任期の中、前年度は前伊藤園長が出席していたことから、今年度から出席となったところで、この会議前には令和8年度入園児に対し決定通知書をお渡ししているところですが、例年新規入園児数が減少していることに対してこども園として定員変更等も検討し、運営に関しても協議を続けていきたいと思う。
- ・広瀬委員：ファミリーサポートの代表としてこの会議に出席させてもらったが、保護者のニーズ変化等も現場では感じており、最近依頼が多いのは、こどもの習い事における送迎のニーズが増えていると感じている。現在は担当スタッフでサービスの提供を行えているが、今後案件が増えてきた際には町も含めて、事業の在り方について検討していければと思う。
- ・藤澤委員：2年間の任期満了について、委員の皆さんにおかれましてはお疲れ様でした。今会議を行っているこどもセンターが建築される前も委員として協議に参加しており、今施設に入れることを嬉しく思う。4月からのこども誰でも通園制度では、就労有無を問わず通園ができるとのことなので、保護者には有効に活用してもらえればと思う。今後も民生委員として、こどもの育ちを支援する活動を続けていきたい。
- ・加藤委員：役員変更に伴い、1年間子ども子育て会議に出席させてもらったが、各種資料を拝見する中で、出生率の低下にとっても驚いた記憶がある。自身も上富良野町にずっと住んでいながら、ここまで大規模な少子化を目の当たりにし暗い気持ちになることもあったが、子育て施策は昔よりもずっと拡充しており、地域の中で横のつながりも途絶えてはいないと思うので、今後も会議を通してより良い町づくりを行っていければと思う。
- ・渡部委員：子ども子育て会議に出席し、様々な町の子育て支援事業を知ることができた。ママ友の中には、この会議内で協議された内容等を理解していない人が複数いるかと思うので、自身が伝えていくことで少しでも周りの保護者の理解が深まればいいと感じた。
- ・松原委員長：様々なご意見・感想を賜りありがとうございました。
色々な立場から子育て施策に対するご発言がありましたが、保護者のニーズ変化がみられるとの声も聞かれました。子どもの保護者としてこの会議に出席されている第1号委員の3名に、子育て中で印象に残っている出来事や、転入して身近な頼れる人がいない際に地域の横のつながりとしてあげられた声掛け等について、どのような印象を受けたか伺いたい。
- ・広瀬委員：私には、小学生の長男と4月から就学する長女・0歳の次男、3人の子どもがいますが、まだ上富良野町に転入して間もない頃でも町の中で子どもの名前を呼んで話しかけてくれた時はとても安心できた。こどもセンター等に通うことにより子どもを通じて、知り合いも増えていき、孤独な時でも相談できる人ができたのはとても良かったと感じる。

内 容

- ・加藤委員：上富良野町は、スーパーに行くとき必ず知り合いに会い2・3回は声かけ・ご挨拶をすることがあるが、そうした1つのやりとりも地域の横のつながりになっていき、子育てがしやすい町づくりになっていたのではないかと感じている。
- ・谷委員：今年19歳になる長男の子育て期は、1人目ということもあり一生懸命こどもセンターやサークル等に通うことでママ友もでき、今でも相談できる親しい関係性を築くことができたが、次男・三男となると関係性も希薄となっていったことと思う。やはり1人目の子育てに対する力の入れ方は強かったと思い返すと感じる。
- ・松原委員長：今の話を伺った中で町としての横のつながり、声掛けであったり挨拶のやりとりがやはり関係性を構築していくものに繋がっていると感じる。それはお母さんだけではなく、お父さんも一緒にその輪に入って子育てをすることで、子育て環境がどんどん良くなっていくことと思うので、この会議を通じてたくさんの方のよりよい意見を交わし、協議を続け、輪が広がっていければと思う。
- ・事務局（三好課長）：様々のご意見・感想を賜りありがとうございました。
行政としても、保護者の方々から意見等を聞ける機会が少ないことから、この会議で伺った貴重なご意見・感想等を今後の制度運用等に生かしていければと思う。

閉会